

【2011年(平成23年)】

11月 木島平中学校 10人、引率3人がディーキルシュ市を訪問



メルシュ市にて歓迎会



LCE 校見学



LCD 校見学



マイニング博物館見学



日本大使館訪問

【2011年(平成23年)】

【参加者の声】

・ルクセンブルクでは、さまざまな場所を見学しました。LCD校では、木島平中学校とは違う授業の様子や内容、施設や環境が充実していることに驚きました。積極的に発言する人が多く、自由な雰囲気でもとてもよい学校だと思いました。

ルクセンブルクは自然も豊かで、ディーキルシュ市で大きな泉を見たりしました。伝統ある教会を見学したり、ワイン造りや鉱業などの産業、戦争の歴史などを学びました。その中で、農業や鉱業などで頑張ってきた人たちがいたから、今の豊かなルクセンブルクがあるのだということを知ることができました。

そして、ホームステイでは、初めて日本語が通じない相手と一緒に過ごすということで、ものすごく緊張し大変でした。はじめは全く会話にならなくて、お互いが困ってしまったけれど、少しずつわかる言葉で質問したりすることができるようになりました。ホストファミリーの皆さんもとても親切にしてくれて、4日間だけだったけれど、とても貴重な経験をさせてもらい楽しいホームステイになりました。

ルクセンブルクの歴史や自然、産業などを学び、そして多くの人々と触れ合うことができ、充実した訪問となりました。

・僕のホストファミリーの住んでいるところは、カトリーナやジョージュの通う中学校(LCD)まで、歩いて5分もかからずに行けるので、毎日歩いて登校します。7時45分頃に家を出ましたが、外はとても寒く薄暗かったです。LCD校は赤い校舎で、日本の校舎とは比べものにならないくらい広かったです。また、教室はもちろん廊下まで暖房があってとても暖かかったです。LCD校には映画館のような部屋があって、そこで生徒が作ったLCD校の歴史についてのアニメを見ました。話していることはよくわからなかったけれど、生徒だけでアニメを作れるということがすごいと思いました。お昼ご飯は、給食というよりレストランのようでした。パスタやピザ、ケーキなどが出て、とてもおいしかったです。

授業では、ハンドボールを見ました。みんな楽しそうにやっていました。カトリーナの話では、ルクセンブルクでは、英語、ルクセンブルク語、ドイツ語、フランス語、ラテン(イタリア語に近い言葉)を習うと言っていました。その中でも、ラテン語が難しいと言っていました。